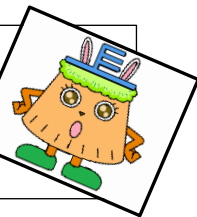


長松小学校学校だより

R5年12月18日発行

えがお ippai 97号



行動が状況を変える手段となる

「どうしようか」「うーん」思案を重ねる時間があります。そんな時、こんな実験を思い出します。ある学校での学生を使った実験です。陶芸を課題に出してAグループには「採点基準を量」と伝えました。たくさん作ったら評価するというものです。Bグループは「採点基準を質」と伝えました。作品のよしあしで評価するというものです。最終的に素晴らしい陶芸をたくさん作ったグループはAグループでした。

Bグループは「思案」が先にいき、なかなか行動ができませんでした。Aグループはとにかく、たくさんつくりました。このことが、試行錯誤につながり、よい作品が結果的にたくさんできたとのこと。

悩んだり思案したりしたら、まず動き出すこと。今年ものこりあとわずか。忘れていたり、先延ばしにしたりしたことを、まず行動する。そんな一週間にしていきたいです。



低温続きますが 元気にあいさつを

今週はずっと低温が続く予報です。子どもたちをみていて、たくさんの子が手袋やマフラーをしています。保護者様のご対応をととても嬉しく感じています。

朝「おはようございます」という子、会釈をする子も増えてきました。あいさつをすることで自分自身への気持ちよさ、あいさつをすること自分以外の周りを明るくする気持ちよさに気づくように学校でも話していきたいと思います。

